



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリーに輝きを」 Light Up Rotary

2014-15年度 RI会長/ゲイリーC.K.ホアン RI.D2590ガバナー/大野 清一 横浜旭RC会長/増田嘉一郎

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F
TEL.045-365-3273
FAX.045-365-3132
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ 4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日/12時30分~1時30分



2014年 9月3日 第2165回例会 VOL. 46 No. 9

- 司 会 副SAA 二宮麻理子
- 開会点鐘 会 長 増田嘉一郎
- 齊 唱 君が代、奉仕の理想
S L 千葉 和裕

■出席報告

会 員 数	36 名	本日の出席数	32 名
本日の出席率	100%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

なし

■他クラブ出席者

二宮麻理子 (ワイキキ RC)

■ビジター

寺尾三樹男様 (横浜グリーンプロバスクラブ)

■9月誕生記念祝



増田嘉一郎会員 9.20
岡田 清七会員 9.9

■紹介者バッジ授与 後藤会員



■会長報告

1) 私事になりますが、私は、平成6年4月から平成9年3月迄最高裁判所に設置されている司法研修所の民事弁護教官を務めました。その時の最初に受け持った司法修習生が、今年法曹になって20周年ということで、8月30、31日に、京都での記念行事に招待されて出席してきました。裁判官、検察官、弁護士のいずれであっても、20年ということは、今や法曹の第一線でバリバリ活躍されている方々です。私が民事弁護を教えた等ということはおこがましく、一緒に酒を飲んだこと位しかやっていないのですが、まぶしい限りに輝いている彼らと過ごせた時間は、本当に至福の至りという感激を与えてくれました。私は、当時既に当クラブに入会しており、平成13年に第一東京弁護士会の副会長を務めた時も同じですが、メイクアップに苦勞したこと

も思い出されました。当時はメイクアップ期間は、例会の前後1週間しかなく、あわてて鶴峰ロータリークラブの土曜日の例会に飛び込んで助けられました。今はメイクアップの期間が前後2週間になりましたが、やはり経営者の皆さんは突然の急用が水曜日に飛び込んでくるのであり、鶴峰ロータリークラブの土曜日の例会がなくなり、皆出席を維持するのは本当に大変だと思います。当クラブの出席率100%の維持も、数か月で3年になります。皆様の熱意に頭が下がる思いであり、改めて感謝する次第です。

2) 9月の別名は、長月です。これについても諸説あるようですが、夜が段々長くなる「夜長月」から長月となったという説が最も有力です。

9月7日は、二十四節気の17番目白露になります。草の葉に白い露が結ぶという意味です。夜の中に大気が冷え込み、草花に朝露が宿ることから、名付けられたといわれています。確かに日中は暑さが残る日もありますが、朝夕は涼しさを感じさせます。そして、9月9日は5節句の1つ、重陽の節句です。奇数を陽として、奇数の中でも1番大きい9が重なる日ということで、重陽といわれ、大変めでたい日とされています。菊の節句ともいわれ、日本へは平安時代の初めに伝わり、宮中で観菊の宴が催され、菊には邪気を払い、長生きの効果があるそうで、菊の香りを移した菊酒を飲んで長寿を願ったということです。

3) 本日は、田川会員の卓話です。今年度始まって2か月経ちましたが、これ迄はフォーラムとか、テーマが決められた卓話で、会員が自由にテーマを選択できる卓話は今年度初めてとなります。外部の人による卓話も確かに知識の吸収という面では役立つことが多いのですが、会員の卓話も良く知っている会員の人柄もでて、あるいは、その人なりを見直す機会として、興味深いものがあります。田川会員の卓話を期待して聞かせていただきます。

なお、第1水曜日夜の懇親会は、開始時間が遅すぎるという声があるため、本日から午後7時に変更することにしました。ただし、私にとっては、結構厳しい時間です。適宜到着次第始めていて下さい。場所は、北口の「ゆうや」です。多くの会員の参加をお待ちしております。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜田園ロータリークラブ

日時 9月9日(火)2クラブ合同例会

点鐘 午後6時 横浜たま、田園RC

場所 青葉台フォーラム

日時 9月16日(火)体験例会

日時 9月23日(火)休会

日時 10月28日(火)→11月3日(月)

青葉区民祭り

○横浜たまロータリークラブ

日時 9月9日(火)2クラブ合同例会

日時 9月23日(火)休会

■広島豪雨災害義援金協力依頼

第2590地区ガバナー 大野 清一

8月19日～20未明にかけ広島県安佐南区、北区を襲った局地的な豪雨は、土砂崩れや土石流等などの甚大な被害をもたらしました。

この度、この豪雨による被災者を支援するために、第2710地区(広島)に義援金口座が開設されたとガバナー会より連絡がありました。ご協力の程お願い申し上げます。

会員一人当たり1,000円以上。

■親睦委員会

市川 慎二

1) 9/5(金)川崎競馬ナイトー観戦

時間厳守でお願いします。

2) 10/7(火)東日本大震災チャリティーディナーパーティーの申込。宜しく申し上げます。

3) 11/7(金)地区大会へのご参加。

大勢の参加をお願いします。

■横浜グリーンプロバスクラブ

寺尾三樹男



貴重な時間を頂き有難うございます。プロバスクラブ立ち上げにつき提唱クラブという事で、最初にお願いに参りました。創立総会が、9月18日(木)午後6時、ホテルキャメロットジャパンにて執り行う運びとなりました。お一人でも多くの方にお越し頂ければ幸いです。宜しく申し上げます。

■社会奉仕委員会 福村 正
次回例会は社会奉フォーラムにて、濱陽太郎旭区長をお迎え致します。皆様のご出席をお待ちしております。

■青少年奉仕・インターアクト委員会
委員長 佐藤 真吾

○2015-16年度

ロータリー青少年交換学生募集の案内
派遣期間：2015年8月より1年間
応募資格：横浜市・川崎市在住または在学の日本国籍を持つ高校生。出発時に満15～18歳の方（応募時に中学3年生で、来春高校進学予定者も可）

申込方法：学校より願書を受領、最寄りのロータリークラブへ提出。詳細は第2590地区HP参照・中学生の応募はお問い合わせ下さい。

問合せ先：地区ガバナー事務所 045-650-2590
申込受付：2014年9/1(月)～10/15(水)

選考試験：第一次試験(筆記)2014年11/9(日)
第二次試験(面接)2014年11/23(日)

募集人員：8名

派遣予定：アメリカまたはカナダ・フランス
・ドイツ・フィンランド・ブラジル
・エクアドル・タイ・台湾

詳細な資料が必要な会員は佐藤まで

■ニコニコBOX(会員敬称略)

寺尾三樹男(横浜グリーンプロバスクラブ)／鶴峰RC終結の折には大変お世話になり、有難うございました。今日はプロバス立ち上げのお願いに参りました。お願い事ばかりで申し訳ありません。

増田嘉一郎／①誕生祝いをいただき有難うございました。自分で思っている以上の年です。いよいよ秋ですね。スポーツに食事に、旅行にと、秋を楽しみたいと思います。②田川さん、卓話楽しみにしています。

漆原恵利子／①先週は寒かった。今日は暑い。皆様、引き続き体調管理のほど、ご自愛下さいませ。②田川さん、卓話楽しみです。

田川 富男／増田年度、はじめての一般卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。

岡田 清七／誕生祝いありがとうございます。82年、健康でこられたことに感謝です。

千葉 和裕／①川瀬さん、息子さんの川瀬税理士さんのおかげで、経済産業省が主催する創業補助金の獲得が出来ました。有難うございました。②内田さん、遠くまで有難うございました。

安藤 達雄／①五十嵐さん、いつも週報の製

本をありがとうございます。②田川さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

吉原 則光／①田川さん、卓話楽しみです。よろしくお願ひします。②久し振りに会員名簿、コンパクトで使いやすそうです。積極的に活用させていただきます。

安藤 公一／田川さんの卓話楽しみです。

佐藤 利明／寺尾三樹男様、ようこそ。久し振りに顔を合わせてうれしく思います。

北澤 正浩／田川さん、卓話楽しみにしております。

杉山 雅彦／①こちらに向かう途中、ボンネットにトンボがとまりました。いよいよ秋ですね。②田川会員、卓話楽しみにしています。

齋藤 善孝／田川さん、本日の卓話楽しみにしています。

桜田 裕子／91歳の母が肺炎で入院、10日程で退院してきていたのですが、認知症が進み、ほとんど歩けない状態になりました。少しずつ快方に向かっていますが、介護が大変です。という訳で2週続けてお休みしました。これからどうなるか心配です。

内田 敏／寺尾さん、ようこそ！

太田 勝典／①寺尾さん、ようこそ。②田川さん、卓話楽しみです。

市川 慎二／①田川さんの卓話楽しみにしています。②寺尾さん、ようこそお越し下さいました。

■卓話 ことわざ三国志 田川 富男



今回のテーマは「三国志」です。その時代に生まれた「諺」についての卓話です。覚えている方もいらっしゃると思いますが、2年前の秋にも諺卓話をさせていただきました。2回目の諺卓話をさせていただきます。

○馬、千里を走る

一日に千里を走る馬は三国志では赤兔馬(せきと)と言う馬です。

漢の武将、呂布(りょうふ)が赤兔を所有

していた。魏の君主曹操（そうそう）が呂布を破って、曹操の手に移る。そして、関羽（かんう）を自分の部下にしたいが為、贈り物として与えた。しかし、関羽は蜀の劉備（りゅうび）に就いた。その後、関羽は呉の孫権（そんけん）によって処刑され呉の馬中（ばちゅう）に渡る。赤兎馬は三国をめぐるめくった事になる。また、その間は35年とも成ります。1日に4,000km走り35年間、現役の騎馬が実在するとは考えにくい。歴史だけに寓話と言う考え方も存在すると思われます。

○画餅

絵に描いた餅、意味の無いもの、無価値
魏の腹心 曹丕（そうひ）は主君、曹操（そうそう）の指示で、名の有る優秀な人材を集めよ、の命令に対して「評判の良いだけの者はいらない」彼らは画餅の様なもので何の役にも立たない。

○虎穴に入らずんば虎児を得ず

危険を起こさなければ成功を収めることは出来ない

呉の名将、呂蓋（ろがい）が15歳の時、隠れて軍団に入り賊を討伐して帰宅した。母は心配し、以後はおとなしくしてくれと頼んだが、呂蓋は「弱く名もない者が成り上がる為には虎穴に入り功を立てなければ」と母に言い放った。この言葉に子の覚悟を知り、涙を流した。

○危急存亡の秋（時）

ききゅう そんぼう の とき

危険が迫り、生きるか死ぬかの瀬戸際の時、蜀の軍師、諸葛孔明（しょかつこうめい）が「前出師表」の中に記した一文です。前出師表（ぜんしゅすいしのひょう）とは劉備の子、劉禪（りゅうぜん）に宛てた書です。「とき」中国での原文では時間の時ではなく、時期の春夏秋冬の中で秋を用いている。それは、収穫の秋から来ている。

○三顧の礼

価値ある人に仕事を引き受けてもらう時、何度も足を運び礼を尽くし頼み込む

諸葛孔明の名声を聞いた蜀の劉備が関羽（かんう）、張飛（ちょうひ）を引き連れて孔明の家を訪ねたが不在だった。三回目の訪問で会えた。そして、劉備は孔明に必死に軍師受託に説得した。劉備の態度に感服し、劉備に仕えた。

○苦肉の策

自らの身を挺して道を開く

苦し紛れの計略

三国志の中で代表的な戦い「赤壁の戦い」の際、呉の老将、黄蓋（おうがい）が偽りの投降をするため司令官、周瑜（しゅうゆ）と猿芝居を企てた。黄蓋が周瑜に反抗して百叩きの刑を受けた。曹操に近づくための計らい事である。そして、呉の軍は赤壁の戦いで大勝利を収めた。

○泣いて馬謖を斬る

全体を守るためには、たとえ信頼が置ける人材で在っても、私情を捨て、涙をのんで処分する。蜀の諸葛孔明が魏の曹操と戦った時、親友の弟で腹心だった馬謖（ばしょく）が命令に背き、大敗をした。孔明は軍法に則り、涙を流して馬謖を斬罪した。

○白波

盗賊のこと。歌舞伎の演目「白波五人男」は盗賊五人男となる。ご存じの「問われて名乗るもおこがましいが、」で始まる五人の口上。

○破竹の勢い

竹は節を少し割れば、次々の節も勝手に割れる、勢いによって勝ち進むこと

三国の時代後期にて 魏は晋に乗っ取られ、蜀も晋に滅ぼされ、残るは呉のみとなった。晋の将軍、杜預（どよ）は呉を攻めるに際し、配下がゆっくりと攻めるべきと進言したが、兵は士気が高く勢いに乗っている。そのまま、進軍して呉を攻め滅ぼした。

○水魚の交わり

言うまでも無く 友情と交流の成り立ち

日本では「水を得た魚」（生き生きと活躍した姿）に変化した。

諸葛孔明を軍師に迎え劉備と連日、談義を重ねた。張飛と関羽は孔明に嫉妬し、「自分たちと軍師とどっちが大事」と迫った。すると劉備は「孔明を得たのは魚が水を得た様なものだ」と言い放った。

ことわざには出来た時代背景があります。今回の諺は三国志時代に生まれた諺を中心に卓話をさせて頂きました。中国史から生まれた諺は数々あります。そして、日本人に解り易いように言葉を変化させた諺もかなりあります。これからも、新しい諺が生まれることと感じます。

■次週の卓話

9/17 地域でできる被害者支援について

山本 哲治様

(旭警察署警察本部被害者支援室長)

週報担当 吉原 則光